



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん

春・夏
合併号

新年会

角屋 志津子

1月19日(日)に毎年恒例の新年会に参加してきました。何だかコロナ禍で気持ち落ち着かず、ここ最近を過ごしているこの頃、半年前の新年会がとても懐かしく感じます。

当日は新年会ということで張り切って着物で参加しました。やはり、煮物を着ると気持ちも凛として、普段の私からはとても考えられないくらいにおしとやかになれると感じたのは私だけでしょうか。



今年は八海太鼓さんからとても勇壮な迫力ある太鼓の演奏がありました。会場いっぱいに響き渡る力強い鼓動はとても引きよせられるものがあり、一緒に体験で参加した学生さんたちもとても勇敢に太鼓を叩いていた姿が今でも鮮明に覚えています。その後は、新年会恒例のどじょうすくい踊りです。日本の民俗芸能ですが、ひょうきんな表情と微妙な腰の動きで自然に皆さん笑みに包まれていましたね。

また、新年会ランチでは、皆さんお国自慢ともなるお料理が持ち寄られ、カウンターにいっぱいに！普段ではいただくことができない本場のお料理に舌鼓を打ち、本当に楽しく幸せな時間でした。

今年はコロナの影響で学生さんも私たちも行動が制限され、とても窮屈な生活を強いられておりますが、いつかまた会員さんや学生さんが自由に交流できる日を願うばかりです。皆さん、どうぞご自愛くださり、再会できる日を楽しみにしております。

バレンタイン・イブパーティー 高橋 和子



2月13日(木)にフランスからの交換留学生のエミリーさんに誘われて、国際大学のラウンジで開かれたミニパーティーに会員の小島由美さんと行きました。

交換留学の学生さんは自由な時間も多く、また、短い間に多くのことを体験したいと積極的で、火曜サロンにも多くの交換留学生が遊びに来てくれていました。

今年もヨーロッパからの交換留学生がたくさん来ていて楽しみにしていたのですが、コロナ禍でなかなか交流することが出来ず、帰国する学生が多かったようです。そんな中で貴重な時間を頂きました。

エミリーさんはパンケーキ、小島さんが日本のカレーを、私は春雨のスープ。本当は映

画も見ると予定でしたが、話が弾み過ぎてすぐにお開きの時間になりました。

何気ない日常ですが、また1日も早くこうして学生さんたちと交流できる日が来ることを願ってます。

限られた時間で思い出を

小島 由美



たとえ縁があって国際大学に導かれても、1年も待たずに帰国しなければならない学生にとっては、日本での1日1日をより有意義に過ごしたいことでしょう。日本の伝統的な文化を体験してみたい学生もいます。一方で、そんな学生と私たち夢っくすでは、その期間の短さから、交流の機会が限定的にならざるを得ません。皆さんが運良くサロンに立ち寄ってくれたり、たまたまイベントで知り合ったりでの出逢いが殆どです。もちろん夢っくすは、どの学生も、学生の家族や日本人も、いつでも大歓迎しています。今回は、短期間で帰国した学生と、皆さんが望んだ日本文化を共有できた至福のひとつを紹介します。

今回は、夢っくすメンバーの石井佑卯子さんの厚意により、ご自宅にて着付けの体験会を開きました。夢っくすの新年会で知り合ったフランスのEmilieさんは卒業式スタイルの袴、同じくフ

ランスのColineさんは着物、チェコのVietさんは紋付羽織袴の姿に大変身しました。衣装は主に高橋和子さんが素敵に用意してくれました。石井さんと高橋さんが、あっという間に本格的かつ美的な着付けで仕上げたので、私はまるで、時間の早回しの目撃者になったようで面白かったです。しかも幸せなことに、皆さんと会う前に私も着付けてもらっていました！石井さんと高橋さんは、当然に貫禄ある着物の装いです。

日本のサブカルチャーをこよなく愛するEmilieさん「アニメで観ていた袴が着られるなんて！夢が叶いました！」オペラが披露できるというColineさん「着物って本当に綺麗ですね！脱ぐのが惜しいです！」重厚なカメラを持ち歩くジャーナリストのVietさん「結構締め付けるんですね！侍は大変ですね！」

着付けの後は、石井さんからお抹茶をいただきました。これがまた触れるのが恐縮するほどの立派なお茶碗で、明らかに私が一番緊張していました。各自の衣装にご満悦の3人は、初めての得難い体験を、実に心と体で堪能していました。このように、日本で味わう日本文化が有する格別さは、現在はヨーロッパに住む若い皆さんの感性に、きっと響き渡ったはずです。そして、ここで得た発見が、美意識を研ぎ澄ましていく未来に繋がる一助になると信じています。

外国人との交流では、時に押し付けがちなだったり、皆さんの思惑とは多少ズレてしまうことがあるかも知れません。その点を考慮した謙虚さを持ちつつ、どんな体験が皆さんに喜んでもらえるかを想像しながら、私たち自身も楽しいアイデアを生み出していくのも、夢っくすの活動の醍醐味です。今回のような体験は、とても感謝されるものですが、夢っくすメンバーは、感謝を動機として企画するわけではないと感じています。こんなにも輝く笑顔が見られ、その人らしい感想が聞け、そして新しく美しい一瞬一瞬が、永遠の思い出へと移りゆくことに、私はいつも嬉しくて感謝しています。そんな、夢のある交差点のような場を提供してくれる夢っくすを誇りに思います。また、温かで確かな振る舞いで、学びと遊びと喜びを私にも分け与えてくれる夢っくすメンバーを心から尊敬しています。

エミリさんとひな祭り体験

大嶋 映子

1月からフランスから来た交換留学生のエミリさんのチューターになりました。彼女は来日前から日本語を勉強していて、アニメなどにも詳しく、日本に親しんでくれていました。

2月中旬、是非、雛人形を見たいということで塩沢牧之通りで開催されたひな祭りイベントを体験することに。まずは我が家で昼食をとることになり、エミリさんが来るのならばと重い腰を上げ、7段飾りの雛人形も飾りました。

初めて見る雛人形にエミリさんは大感動。昼食には季節はすれではありましたが、日本の伝統食を食べて欲しくてお餅や野菜の煮物などお正月料理を準備しました。特に自家製大根のなますやお餅がお気に入りでした。ゆっくりと食事の時間を楽しみ、その後塩沢へ。時代によって人形の顔や着物のデザインが違うことを地元の方から教えて頂いたり楽しい一時を過ごしました。

いつかまた会える日を楽しみにしています。その日まで、お元気で！



土曜サロンピクニックに参加して

平野 浩子

八色の森公園にて行われた土曜サロンピクニックに参加しました。当日は、メナズさん、サンガレさん、夢っくすメンバーの皆さんと会えなかった時間を埋めるように会話に花が咲き、笑顔がこぼれました（忘れてはいけない、おやつもランチも最高でした！！）。一緒に参加した息子は、大好きなサンガレさんとおもいきり遊ぶことができ、雨か汗かわからない程ビショビショになっていました（笑）。予報どおりの悪天の為、ステージにシートを広げて行いましたが、私達にとっては十分な広さで、未来を語る学生さんを前にとても晴れやかな気持ちになる、そんな一日を過ごすことができました。本当にありがとうございました。



国際大学 修了式

高橋 勇

6月25日（木）に小出郷文化会館で国際大学の修了式が行われました。私は一昨年の修了式以来の式場でしたが、今年は新型コロナウイルスの影響で関係者以外は会場に入らず、式の終了後に立食パーティーもない、ちょっと寂しい修了式となりました。今回は会場に入れないこともあり、修了式には行かないつもりでいましたが、会長のお誘いもあり見送りに参加しました。

修了式はYouTubeでライブ配信されており、私たちも会場脇の公園の片隅で見えていましたが、できれば会場で熱気や感動を感じながら一緒に祝ってあげたいものでした。

式が終わると、夢っくす等と交流のない学生は会場から出ると直ぐに大学が用意したバスに乗り込みましたが、私たちと交流のある学生は、離れた場所で手作りグッズで見送りをしている私たちに気付くと、駆け寄って来て一緒に写真を撮り始めました。

これを機に他の学生達もあちこちで撮影会を始め、最後は恒例の帽子投げで曇り空を吹き飛ばしました。少人数での見送りでしたが、私たちを見つけた学生さんたちの嬉しそうな笑顔を見て、思いだけでなく行動でお祝いの気持ちを表すことの大切さを実感しました。



現在は新型コロナウイルスの影響で、卒業しても帰国できない学生が大勢いるとのことで、世界的な流行が早期に終息することを願うばかりです。そして、卒業生の皆さんが世界各地で活躍し、いつかどこかで再会できることを楽しみにしています。

タイ学生来日

高橋 和子

1月17日（日）に2015年に卒業したKhanaphod Tantskさんが家族と一緒に遊びに来てくれました。

実は去年より冬に越後湯沢でスノーモービルをしたいと連絡があり、予約までしていたのですが、この冬は私でも経験のないような少雪で、結局スノーモービル体験はできませんでした。折角来たので他に何かやりたいことがあるかと聞くと、日本のお寺に行きたいと言うので、早速、越後一の寺、雲洞庵に連れて行きました。タイの人達はとても信心深い仏教徒でタイのお寺とは様子が違いますが、ご本尊の前で長い時間お祈りしていました。

今回は雪深い魚沼を見ることができず残念でしたが、帰りに六日町の寿司屋で念願の大トロをたらふく食べて喜んで帰って行きました。今度来日する機会があったら、背丈程積った雪をご家族にも体験して欲しいものです。



インドネシア学生来日

高橋 和子

2月25日（火）に2011年に卒業したAlecさんが家族で来日しました。丁度、新型コロナウイルスの感染拡大が話題になり始めたところで、ドキドキしながら渋谷に行きました。

去年、娘さんのためにランドセルが欲しいということで、サロンにあった中古のランドセルを送ってあげたのです。それで送料を払いたいと律儀に申し出てくれたのですが、僅かなお金を送金することができず、今度会うときにね!と言っていたら、今回本当に来日して払いに来たのでした。彼らの旅の工程は北海道→東京→横浜→富士山→名古屋→大阪という日本のゴールデンルート!! またそのツアーのツアコンが2012年卒業で、日本の旅行代理店で働いているユスフ美亜さんでした。

いつもなら外国人観光客で長蛇の列でハチ公と一緒に写真を撮ることは難しいのですが、既に外国人観光客の規制がスタートしていた渋谷はいつもより静かで、並ばずに撮れました。渋谷滞在は僅か2時間あまりでしたが、沢山の買物が出来たようで皆さん喜んでいました。

その頃はまだ、今の様な生活になろうとはお互いに深刻に考えていませんでしたが、何より彼らが無事に旅行を楽しんで帰れることだけを祈りました。結局は何事も無く無事に帰国できたのですが、その後に北海道で感染拡大したことを考えると、彼らは本当に運が良かったなあと思いました。今後、いつ海外に気軽に旅行に行ったり、卒業生が日本、そして魚沼に自由に旅行したりすること

ができるのでしょうか? リモートワークやオンライン授業等も便利で良い所も沢山ありますが、こうして直接会う楽しみは格別だと思います。また卒業生と再会できる日が来ることを楽しみにしています。

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7

うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）

TEL/FAX: 025-779-1520

E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: <http://www.umex.ne.jp/>

担当者連絡先

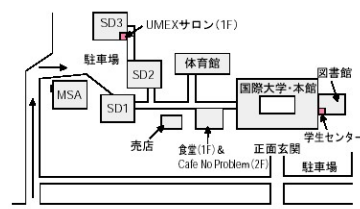
高橋（会長、担当：サロン、多言語など）：070-5083-3123

櫻井（副会長、担当：イベントなど）：080-6608-4830

森山（担当：広報）：090-6945-9402

角屋（担当：キッズ）：090-8773-0329

現在、夢っくすは新型コロナウイルスの感染拡大により活動ができない状態が続いていますが、これまでの交流を掲載して発行しようということになり、今回は春号との合併という形で発行させて頂きました。今でも帰国できずにキャンパスに留まっている学生もあり、一日も早い収束が待たれるところです。皆さんもどうぞご自愛ください。(toshi)



入会方法

入会は随時受け付けております。申込書は夢っくすのホームページから入手できます。また、夢っくすサロンでも配布しております（来られる際には事前にご連絡ください）。会費は以下の郵便口座にお振り込み頂くか、または夢っくすサロンに直接お持ちください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会